令和 2年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報			
事務事業名	庁舎施設維持管理事務	担当課	管財課
総合計画	政策	信頼に応える行政運営	計画期間
	施策	適正な行財政運営の推進	種別
	基本事業	公有財産の有効活用と適切な管理	市民協働
予算科目コード	01-020104-01 単独	根拠法令・条例等	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
平成2年10月に現在の場所に庁舎が完成し、庁舎施設維持管理事務が始まった。	<ul style="list-style-type: none"> 庁舎や付帯設備の維持管理を業務委託により行う。 <ul style="list-style-type: none"> 《内容》 建物清掃業務、庁舎夜間警備業務、機械警備業務、自家用電気設備保安管理業務、庁舎設備運転管理業務、庁舎植栽管理業務、電話交換業務等。 庁舎施設の長寿命化を図るため、計画的に改修工事を行う。
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	○市役所庁舎 敷地面積：31,134㎡ 竣工：平成2年10月25日 延床面積：9,408.80㎡ 構造：鉄骨鉄筋コンクリート造3階建て
庁舎や付帯設備の維持管理を行い、市民や職員が安全かつ快適に利用できるようにする。	
（参考）基本事業の目指す姿	
公有財産の有効活用と適切な管理を行う。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
庁舎竣工後29年が経過し、庁舎及び備品等の老朽化に伴い修繕費等が増加している。また、庁舎駐車場の不足や庁舎施設が手狭になってきている。	《庁舎増築》 R2…庁舎増築基本計画の策定 R3～R4…庁舎増築 実施設計 R5～R6…庁舎増築工事 《庁舎駐車場》 R2…用地取得 R3～R4…駐車場整備工事 《修繕工事等》 R2…議会棟外照明改修工事 R2…外壁防水改修工事設計 R3…外壁防水改修工事 R1～R2…庁舎空調改修工事 《その他…R4・R5・R6予定》 エレベータ交換工事…R6 非常用発電機等更新工事…R6 天井補強工事（内部タイル修繕含む）…R6 庁舎電話交換機設備更新…R6 食堂改修工事…R7 庁舎LED化改修工事…R7
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
計画的に庁舎の大規模修繕などを進めることで施設の長寿命化を図る。また、庁舎駐車場や庁舎の増設・増築を検討する。	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☒ 増加 ☐ 維持 ☐ 削減	庁舎の大規模修繕、増築、駐車場増設などを行うことからコストが増加する。

R01年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（R02年度の振り返り）	
R01年度の評価（課題）	R02年度 of 取組（評価、課題への対応）
修繕計画の見直しを実施し、庁舎空調設備改修工事を令和元年度から2箇年で行った	庁舎の老朽化に伴い、令和2年度に庁舎増築・改修に向けた基本計画の策定を実施した。 また、令和3年度に外壁防水改修工事を実施するにあたり、令和2年度に実施設計を行い発注に向けた準備をした。

評価（指標の推移、今後の方向性）							
指標名	基準値（H26）	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	目標値（R03）
突発的な修繕件数（件）	35.00	17.00	18.00	25.00	18.00	32.00	15.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）							
☐ 向上 ☒ 横ばい ☐ 低下	修繕計画に基づき、次年度以降に計画している大規模改修等の予算確保や実施計画等進めることで、成果を向上をする。						
今後の事業の方向性（→その理由）							
☒ 拡大 ☐ 改善・効率化 ☐ 縮小 ☐ 統合 ☐ 維持 ☐ 廃止・終了	庁舎施設の長寿命化及び機能維持を図るため、修繕計画に基づき大規模改修を実施することにより、一時的に事業費が上昇する。						

コストの推移						
項目		H30年度決算	R01年度決算	R02年度決算	R03年度予算	R04年度見込
事業費	計	114,399	347,489	686,693	408,580	0
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	180,000	387,000	132,000	0
	その他	3,559	3,246	3,350	179,809	0
	一般財源	110,840	164,243	296,343	96,771	0
正職員人工数（時間数）		1,237.00	540.00	777.00	0.00	0.00
正職員人件費		5,164	2,216	3,145	0	0
トータルコスト		119,563	349,705	689,838	408,580	0

令和 2年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名	普通財産維持管理事業	担当課	管財課	
総合計画	政策	信頼に応える行政運営	計画期間	年度～
	施策	適正な行財政運営の推進	種別	任意の事務
	基本事業	公有財産の有効活用と適切な管理	市民協働	
予算科目コード	01-020104-02 単独	根拠法令・条例等		

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
市が所有する普通財産（土地）を維持管理する。	業務委託により未利用地の除草等を行い、適正な維持管理を行う。 売却可能な市有地については、入札等により売却を行い、売却できない市有地については、賃貸等の有効活用を検討する。 ≪普通財産≫ 面積：84,243.35㎡ 筆数：159筆
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
未利用地を適切に管理するとともに、売却や賃貸をすることで、公有財産の有効活用と財源の確保を図る。	
（参考）基本事業の目指す姿	
公有財産の有効活用と適切な管理を行う。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
利用計画のない市有地の維持管理費用が生じている。	≪市有地の売却≫ ○予定地 ・久保ヶ丘四丁目28地内（約500㎡） ・百合ヶ丘三丁目字向原地内外 平成式典側 1388.23㎡ セブンイレブン側 393㎡ ≪予定≫ 7～8月 売却方針の検討 9～3月 調査業務（不動産鑑定） R3.4月以降 契約行為（入札等）の実施
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
売却可能な市有地については売却を行う。 売却可能な市有地を売却するために調査業務等の委託を行う。	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
■増加 □維持 □削減	市有地の売払いに係る経費として、不動産鑑定などの調査費を要する。

R01年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（R02年度の振り返り）	
R01年度の評価（課題）	R02年度の取組（評価、課題への対応）
今後も未活用地について、維持管理経費が発生するので、売却の可能性を検討し、売却できるものは売却し、維持管理費の削減に努める。	今年度、百合ヶ丘三丁目2793番20（地籍10.45㎡）の一筆を売却した。その他、未活用地については、管理上必要最低限の経費で除草等の維持管理をおこなった。また、その他売却予定地について、不動産鑑定を実施した。

評価（指標の推移、今後の方向性）							
指標名	基準値（H26）	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	目標値（R03）
貸付面積（㎡）	10,109.00	10,109.00	10,109.00	10,109.00	10,109.00	10,109.00	10,109.00
売却面積（㎡）	387.00	0.00	676.36	0.00	7,488.23	10.45	1,388.20
成果の動向（→その理由）							
☐ 向上 ☒ 横ばい ☐ 低下	貸付面積の増減はなかったが、百合ヶ丘地内の1筆（10.45㎡、544,125円）を売却をしたことにより、管理面積が縮減した。						
今後の事業の方向性（→その理由）							
☐ 拡大 ☐ 縮小 ☒ 維持	☐ 改善・効率化 ☐ 統合 ☐ 廃止・終了	今後も未活用地については、必要最低限の維持管理経費が発生するので、売却の可能性を検討し、売却できるものは売却し、管理面積の削減に努める。					

コストの推移						
項目	H30年度決算	R01年度決算	R02年度決算	R03年度予算	R04年度見込	
事業費	計	7,124	24,963	34,351	18,399	0
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	7,124	1,070	1,399	1,097	0
	一般財源	0	23,893	32,952	17,302	0
正職員人工数（時間数）	638.00	174.00	359.00	0.00	0.00	
正職員人件費	2,664	714	1,453	0	0	
トータルコスト	9,788	25,677	35,804	18,399	0	

令和 2年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報			
事務事業名	公用車配置事務	担当課	管財課
総合計画	政策	信頼に応える行政運営	計画期間 年度～
	施策	適正な行財政運営の推進	種別 任意的事務
	基本事業	公有財産の有効活用と適切な管理	市民協働
予算科目コード	01-020104-04 単独	根拠法令・条例等	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
<p>これまで部（総務部、生活経済部、都市整備部、教育委員会）に配置していた公用車について、一元的に管理することで管理の効率化を図るため、管財課で一元管理を行う（平成29年）。一元管理の公用車は、予約体制（鍵の貸出等含む）を管財課が行っている。</p>	<p>公用車の状態管理を行う。 また、車両の購入、廃車を行うとともに、任意保険の加入事務を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管財課所管車両：27台 ・公用車台数：91台（任意保険管理）+17台（特車消防）+5台（福祉センタ）+3台（廃車予定）=116台
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	【令和2年4月1日現在】
<p>公用車の配置や維持更新等を適正に管理する。</p>	
（参考）基本事業の目指す姿	
<p>公有財産の有効活用と適切な管理を行う。</p>	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
<p>公用車の配置や維持管理・更新が適正に行えている。</p>	<p>特になし。</p>
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
<p>特になし。</p>	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
<p> ☒ 増加 ☐ 維持 ☐ 削減 </p>	<p>次年度は、公用車の増減予定はない。次年度は公用車の更新予定している。</p>

R01年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（R02年度の振り返り）	
R01年度の評価（課題）	R02年度の取組（評価、課題への対応）
公用車の予約システムにおいて、使用時間の変更に伴い、予約修正をしないため、予約修正をするよう指示している。	公用車の管理については、一元管理方式により任意保険の加入、車検、点検、修繕等の車両の維持管理を行った。

評価（指標の推移、今後の方向性）							
指標名	基準値（H26）	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	目標値（R03）
一元管理公用車稼働率（日単位）（%）	0.00	0.00	59.31	59.74	59.04	52.21	66.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）							
☐ 向上 ☒ 横ばい ☐ 低下	今年度については、コロナ禍の影響により、会議等が縮小され出張などの機会が減ったことにより、稼働率が下がっている。						
今後の事業の方向性（→その理由）							
☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 維持	☒ 改善・効率化 ☐ 統合 ☐ 廃止・終了	現在、管財課で管理している一元管理対象の公用車数を増やすことにより、適切な配置車両の選定を行い、経費削減に努めていく。					

コストの推移						
項目		H30年度決算	R01年度決算	R02年度決算	R03年度予算	R04年度見込
事業費	計	7,989	14,274	13,055	11,661	12,000
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	348	0	0	0
	一般財源	7,989	13,926	13,055	11,661	12,000
正職員人工数（時間数）		194.00	201.00	158.00	0.00	0.00
正職員人件費		810	825	640	0	0
トータルコスト		8,799	15,099	13,695	11,661	12,000